

## 変わるカレービジネス

## 一歩リードする差別化スイーツ



メニュー拝見／料理の本・酒の本／最新店舗デザインチェック  
佐竹弘の新・基本イタリア料理／曾兆明の醸芽菜をめざして



友田晶子の



今あえて日本酒度マイナス  
15度の純米酒『蒼星美酒』を  
おすすめする理由



蒼星美酒 1,8ℓ 税込み2420円  
720ml 税込み1300円  
180ml 税込み500円(予定)

「ナゾの甘口純米酒。旨味がたっぷり、一日中訓練して疲れた忍者也満足じゃと言つて、ぐっすり眠れそうな美味しい風味」

と、いささか唐突な裏書が妙に気にかかる今回ご紹介の『蒼星美酒』。なんで「忍者」が「満足じゃ」なのかといえば、このお酒の故郷が伊賀上野市だから。はい、伊賀忍者の里なんですね。

本当に忍者が飲んだかどうかは定かでないが、『蒼星美酒』の造り手、合名会社森本仙右衛門商店はこの地で弘化元年（1844年）から酒造りをしてる。『里松翁』がメインブ

ランドだが、販売の8割は三重県内というから、全国的にはあまり知られていない。でも、日本吟醸酒協会の初回メンバーであり、全国新酒鑑評会では通算12回金賞受賞を

果たしている実力ある蔵である。どの商品も全体にきりりと引き締まった味わいの洗練された辛口タイプだから、地元の愛好家も飲み飽きしないこの味わいを支援しているのだと思う。

しかし、この『蒼星美酒』は「甘口旨口特別純米酒」と銘打たれた日本酒度マイナス15の甘口仕上げ。忍者也満足する甘口とは、さて、どんな味かとみてみれば、なるほど、熟した梨や瓜、枇杷や杏みたく、果実のような甘さがとても印象的だ。しかし後味はナッツのような香ばしさがひろがり、嫌な甘味は残らない。甘口とはいえ、うん、やっぱり、きりりと引き締まった後味がこの蔵らしいと実感した。

この果実のように爽やかで旨味のある甘味は、酸度の高さにもかかわってくる。普通は1パーセント台が多いが、これは2パーセント。甘くても酸味があれば引き締まった味わいに感じられる。さらに旨味もたっぷり。アミノ酸度が4パーセントだ。ま、数字的などころはおいておく

としても、このくらい立体感がある味わいだと、しっかり旨味のあるつまみにも負けないで、飲みつづけることができる。先日食べた、ホテルイカの一食干しに、ヌル爛で合わせてみたらいいだろうなあとニタニタ想像してしまった。

伊賀忍者がどんなにハードな訓練をつんだかは知る由もないが、じつと暑い都会の夏、汗をかきかき一



CANDY 全麹純米酒 3000ml 6500円

最近、日本酒の飲み方で、ちょっとした流行りのスタイルがある。

大ぶりのグラスに大き目の水を入れ、常温のままの日本酒を注ぐという方法。まあ、これだけなんだけど、常温だから水が溶けて、アルコールが少し薄まり柔らかい味わいになるのだ。たいてい日本酒のアルコールは16度くらいあるから、ちょっと水が溶けると12、13度になって、ちょうどワインと同じくらいになるわけだ。もちろん、すつきり感倍増するし、意外に味わいそのものは薄まらない。

そんなスタイルで飲みたいのが、最近登場した『CANDY』だ。

『吟雪』銘柄で知られる東京武蔵村山市の渡辺酒造の新商品。名前のイメージやレインボーカラーのラベルを見ると、んんん？、また女の子向きの低アルコール酒か？と思つたが、中身は「全麹純米酒」で「精米70%」、アルコール度数16度弱。どちらかといえば、通好み、いやいやヘビューザー好みといつてもいいくらいの内容だ。色は淡い琥珀色。無濾過なのでほんのりと色がついているとは造り手さんのお言葉。

七色に味わいが変わる全麹純米酒『CANDY』

日中働きまくって疲れた現代人にも、きつとやさしい満足感を与えてくれるお酒に違いない。  
1合サイズがあることも見逃せないし、淡麗辛口の日本酒やドライな焼酎ばかりでなく、お酒のバリエーションに彩りを加えたいというときにおすすめしたい。

合名会社 森本仙右衛門商店  
059512315500

香りは純米酒らしいきたてご飯のようなふっくらした香り。味はきりりと引き締まった風味ながら米の旨味のあるしつかりタイプ。

おおつ、意外：と思いつながら、今度は、常温の『CANDY』を氷に注いでみた。すると不思議なことに、まるで洋梨みたいな華やかでフルーティーな香りが立ってきた。味わいもすつきりとシャープになる。そう、まるで、スペイン、アンタルシアの白ワインのようなニュアンスだ。レモンやオレンジの輪切りを添えれば、スペインのカクテル「サンテリア」風になる。いや、「サンテリア」は赤ワインベースだから、日本酒なら「ホワイト・サンテリア」って感じかな。

最初から冷やして飲めば、華やかというよりなめらかさが生きたやさしい味わいになる。これは細身のグラスでそのまま食前酒にしたい。

とすると、もしかしたら、ラベルの文字のレインボーカラーは、七色に変化する味わいのイメージなのかもしれないぞ。

夏といえば「日本酒」苦戦の季節」と思いますが、こんな商品もある。何よりアイデアと提案次第。「CANDY」はそのような想像をかきたててくれる商品でもある。渡辺酒造合名会社  
042156213131